



春風の吹く時節と相成りの折柄御前様より益々
 御機嫌能く御座りませぬ此大い御奉賀りゆき
 ても御陰りなす御善心御学業の成りゆき
 御安心を交わす少き此の夏も御学業の
 了らたかす大学へ入校致し申し別紙計書表に
 書き綴りし通りへの入学後学費金御款に申
 し上り申し既し自分の御座る国少き実之此の
 願ひ申上りし恐れ入りし事なすも實際需
 必用の学費金(最低金額)の事より御座る間
 此の取御尊考の上所許可の段送し下り即預
 ひり申し上りし若し少き別紙計書表に
 御不審の事も高柳氏・折尾氏・執行氏又も英
 廣様より御聞きし事も御貴意と違はず可
 とかし存んじ何れも御座る東方亞米利加と西
 亞米利加 (The West and the East) との區別御聞
 の上御區別も御座る物價の高低並
 び学業の良否・教師の善不善・学業の益
 の善悪、学業の親不親御座ると西と

是れも善有る事なり御座る当大学も有る事
 勉強せられなす御座る故書生御座る
 品行方正学問執心し上り後未卒業後實地
 上り此常事なり扶地を得る事より御座る且り或る日本
 人の如き西洋書生と在實際に於て一室に於て教科書



夫の五所、尊者考の上所許可の跋遺十六、即預
 いと申す。若し少生別、残計等表を於て
 所不實の事も高柳氏、指尾氏、執行氏、又も吳
 廣、様子所聞を以て、所貴意と違ふ可く
 と少生存ん、何れも、東方、西米判如と西方
 西米判如 (The West and the East) との區別、所聞を
 の上、所區別、も、多、預、ひ、と、り、物價の高低並ひ
 は、学、校の良否、教師の善不善、学、校、附の、骨、折
 の善悪、学、校、採、取の、親、切不、親、切、等、東と西と、

思ふべき義有之、少生、子、所、望、の、當、大、学、を、有、名、有、る
 勉、強、せ、が、れ、が、あ、ら、ぬ、学、校、の、故、書、生、等、自、然、
 而、行、方、正、学、問、熱、心、を、少、生、後、未、幸、業、後、実、地
 上、は、此、常、多、る、扶、助、を、得、る、可、し、即、然、而、且、り、或、る、日、本
 人、の、如、き、西、洋、書、生、と、在、交、際、せ、し、一、室、に、於、て、教、科、書
 の、み、勉、強、し、後、て、書、生、に、群、利、宜、く、あ、り、何、事、の、起、る
 時、も、外、と、居、れ、愉、快、之、学、業、勉、強、致、せ、れ、由、こ、り
 自、然、と、教、員、等、と、ま、ま、あ、ら、ぬ、間、が、ぶ、と、相、成、り、の
 後、的、固、の、後、今、迄、何、れ、を、勉、強、致、せ、し、や、か、ら、ぬ、が、
 る、様、子、相、成、り、し、る、を、或、る、日、本、人、中、に、時、々、有、之、る
 推、し、實、は、少、生、所、望、思、の、下、に、居、り、し、る、故、一、層、在、留、院
 務、し、幸、業、後、書、物、生、字、引、を、決、し、て、抑、成、さ、る、覚、悟
 子、即、然、而、其、故、即、承、知、の、上、即、然、而、多、く、預、り、テ、奉、事、り、の
 み、品、行、上、の、事、も、と、大、い、即、他、一、点、こ、り、し、指、さ
 る、推、し、有、る、事、業、致、さ、り、し、耳、あ、ら、ぬ、今、後、に、其、点、子
 を、即、心、配、即、毎、用、の、事、も、即、然、而、大、八、郎、も、大、い、即、お、即、
 坐、して、決、し、テ、他、の、見、處、者、を、決、し、て、母、之、即、然、而、所
 信、用、さ、れ、て、決、し、て、即、心、配、さ、れ、し、事、も、一、層、奉、事、の、

如、今、即、願、い、申、上、り、る、を、第、二、割、残、の、事、も、即、然、而、実、に
 少、生、申、上、難、き、事、也、入、り、し、る、事、も、少、生、業、或、上、の
 讀、流、の、節、の、着、眼、と、其、交、幸、業、の、時、に、必、用、有、る、費
 甲、の、跋、向、し、る、を、即、行、可、し、る、を、預、ひ、上、テ、申、上、り、

撫子実より其所高恩の下に居りし故一層在御覧
 物し辛筆後書物生手字引を法して抑成ざる賞悦
 子所望の如故即承知の上申申し候。其上、奉り
 又品行上の事として大い御他方一点こりし指さ
 る。撫子、辛筆致さばりし母、今後は此点子
 を所心配御毎用の事、所望の大ハ即、大ハ即、即、
 望んで決して他の見慮者、決して母之御望の所
 信用され法して所心配候。此より、奉り候。

如く御願ひ申上りたる事、第二割減の事は所望の家
 少を申上、難き事、入りたる事、辛筆或上の
 讀流の節の着服と其交、辛筆の時、必用なる費
 甲の故何れも、御許可、預ひ上、申、此
 昔の事、高柳、詳細申上、置、此より、御望
 の間、所不審の段、御聞、此より、奉り候。此より、
 子所望、恩、報、此より、御の近、此より、母、夜、此より、
 此より、品行上、此より、倫、此より、指、此より、權、此より、事、
 決、此より、母、此より、事、此より、故、此より、所、此より、
 奉り、他人、由、此より、子、所、此より、人、此より、横、此より、言、此より、所、
 願、此より、事、此より、ド、此より、孩、此より、奉、此より、り、此より、大、此より、即、此より、
 所、此より、学、此より、業、此より、後、此より、後、此より、所、此より、多、此より、恩、此より、
 報、此より、此より、子、此より、所、此より、前、此より、持、此より、御、此より、候、此より、同、此より、
 此より、子、此より、所、此より、前、此より、持、此より、御、此より、候、此より、同、此より、
 此より、子、此より、所、此より、前、此より、持、此より、御、此より、候、此より、同、此より、

大隈重信伯
 御後様
 所子へ

第一
 九ヶ月間
 大学校学期中入費

- 二百七拾三弗、室及食料代、三十九週間、一週七弗割
- 七十五弗、月謝代
- 十弗、小使、読書室、損料代
- 五弗、入校料

奉りし人々(十五)子孫傳説人迄 横言所傳く
 願ふるも、ト之 奉りし實子大に即 傳み傳み
 所學或業の後一多十校し所多思う 報ふる事
 子所伝ひ先つて 學業増加件 所報ふる事
 所前傳ひ即 傳ひ傳ひ 報ふる事
 三ツヤル海 三ツアラスカ 傳ひ傳ひ
 三ツヤル海 三ツアラスカ 傳ひ傳ひ

大隈重信伯
 日 所 後 傳 傳
 所 子 之 之

第一

九〇月間
 大学校学期中ノ入費

二百七拾三弗、室及食料代、三十九週間、一週七弗割
 七十五弗、月謝代
 十 弗、小使、讀書室、振料代
 五 弗、入校料
 四十五弗、化学室、器械振料費、十五弗、一学期
 三期、三十四十五弗
 十五弗、岡司、器械代
 十五弗、書籍費
 五 弗、級費、(Class Expense)
 百三十五弗、洗濯、靴、シャツ、カラ、カラス、ハンカチーフ、靴下、
 木キタイ、傘、帽、新聞、雑誌、紙、筆、煙草、
 下衣、下モヒキ、其他色々、一月十五弗、割
 九月間
 第一合計、五百七十八弗、一月平均六十五弗計
 二十五弗、陸軍制服、理学科の学生のみ、
 三十五弗、春秋の洋服代、外套代
 第二合計、九十五弗

故ニ 一ヶ月、三六十五弗、入費
 一ヶ年、三九十五弗
 相良大八郎 謹書

第二

卒業入費

五十弗、卒業式上ノ演説ノ節着ノ洋服代

五十弗、Class supper, about 3
 五十弗、Music chairs, " " 15

第一合計 五百七十八弗
一月平均 六十五弗

二十五弗 陸軍制服 理科料の学生のみ、

三十五弗の、春秋の洋服代 外套代

第二合計 九十五弗

故ニ 一ヶ月 六十五弗 入費
一ヶ年 九十五弗

相良大八郎 謹書

第三

卒業入費

九十弗 卒業式上、演説の節着、洋服代

五十弗 卒業 Class acceptor. about 5
Munoir " 15
Class Expense. " 5
College graduation badge. " 25

又を英慶之様子の所聞より大凡の程即解した
成る事と存し、川原子共より大なる知れ
る initiation fee 有り之れ也

再伸 ありがとう

此等の屋敷五月頃より入用子即生の間
即後所許可お成しあれを早速之商層
社へ所通知する所あるのみならず第一
二の計算表の表へ所許可の所書きを
次候よりお送りし、即送りし、即送りし
此頃色々お誤り有之り故に改訂して

東京府牛込区早稲田

大隈重信伯

新屋

おき大八郎

Count and Counter Okuma.

Satsio. Japan.

Private

入を英慶之様子所聞よりして大凡の程御解子た
成る事と存し川原子共より女ふん知れ
此 initiation fee 有之り故也

再伸

あらたに

此等の屋敷五月頃より入用子御生り向
御後所許可お成しあれども早連二商号
社へ御通知を致し居るのみならず第一
二の計算表の表へ御許可の所書き
次候より少なりて御送りもなされり
此頃色々交り誤々有之り故に御加て

東京府牛込区早稲田
大隈重信伯

新屋

おき大い

Count of Countess Okuma.

Tokio. Japan.

"Private"



Handwritten signature or initials on the envelope flap.